

社協だよりサポートなよろ

Vol.44 令和2年7月号

Contents (目次)

- 1ページ・・・「つながるなよろ・つなげるメディア」のご案内
- 2ページ・・・令和元年度名寄市社会福祉協議会事業報告／愛情銀行からのお礼
- 3ページ・・・令和元年度名寄市社会福祉協議会決算報告
赤い羽根共同募金「なよろうピンバッジ」のご案内
- 4ページ・・・「第4回市民ボッチャ交流大会」のご案内／「ふれあい広場なよろ」中止のご案内



令和元年度第2回市民ボランティア講座「第3回市民ボッチャ交流大会」にて (2019.9.28)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎号表紙を飾っている「サポートなよろ」のプレートを持った集合写真の撮影は本誌では行いませんでした。

質問・メッセージ募集中!

つながるなよろ つなげるメディア

新型コロナウイルス感染症による影響が続くなかでも人と人とのつながりをつくっていくことができるよう、新たな取り組みを行っています。

「つながるなよろ・つなげるメディア」と題し、地元メディアと連携をして皆さんからいただいたご質問等にお答えしています。

また、お子さんから親戚や友人などに向けた音声メッセージも募集していますので、ぜひ皆さんの声をお寄せください。

声で伝える「FM Air てっし」

文字で伝える「名寄新聞・北都新聞」

メディアが連動して、皆さんへ「今」を伝えています!

放送日時・新聞掲載日

FM Air てっし (78.8MHz)

名寄新聞・北都新聞

第1・第3火曜日

第1・第3水曜日

9:30 ~ 9:40 / 17:40 ~ 17:50

ラジオは「Air てっしホームページ」からインターネット上でも聞けるので、遠く離れた方へも届きます!

名寄社協ホームページ・Facebook・LINE でも
第1・第3水曜日に掲載中!!

質問などをお寄せください!

生活上での質問・疑問・不安なことなど、どのような内容でも構いません。

いただいた内容に答える形でラジオ放送や新聞掲載を行います。

【質問例】

「集会所の換気はどれくらいしたらいいの?」
「道外旅行には行っても大丈夫?」 などなど

電話・FAX・E-mailにて受け付けています。

電話: 01654-3-9862 / FAX 01654-3-9949

(いただいた質問などにお答えできない場合もございます。)

お子さんからのメッセージ募集!

なかなか会えない親戚や友人などに向けた音声メッセージをお寄せいただき、ラジオ放送や新聞、名寄社協ホームページなどで紹介させていただきます。

離れて暮らす方へ、メッセージを届けませんか。

モバイル端末機などで録音したメッセージと
お名前・年齢を添えてメールで送信ください。



chiiki@nayoro-shakyo.jp

(採用させていただく方へはメールでお知らせします。)



メールQRコード

【メッセージの流れ】

- ①最初にキャッチフレーズ「つながるなよろ」を言う
- ②どなたかへ向けたメッセージ
- ③名前・年齢

【メッセージ例】

- ①つながるなよろ!
- ②じいちゃん、ばあちゃん! 会えるの楽しみにしてるよ!
- ③社協 花子 5歳

これまでの掲載
内容やお子さんからの
メッセージは、特設
ページでご覧いただ
けます!



名寄社協公式
LINE でも様々
な情報を発信
しています!



令和元年度名寄市社会福祉協議会 事業報告

現在、各市町村では、公的な福祉サービスと協働して誰もが助け合いながら暮らすことのできる地域共生社会の実現をめざした包括的な支援体制の整備が進められ、地域共生社会における社協の役割の明確化と、社協の有する福祉のネットワークを基盤にした福祉関係者の参加と協働活動の充実・強化が不可欠であり、また各地で発生する大規模災害の発生に備えた体制づくりについても関係機関と検討していく必要があります。

このような背景のもと、令和元年度は、引き続き第4期地域福祉実践計画「つながり」を基軸とし、従前より実施している町内会ネットワーク事業での身近な地域のつながりや、多分野・多世代地域活動拠点協議体事業での分野、世代を超えた福祉のまちづくり、生活困窮者自立支援事業、成年後見センター運営事業を中心とする地域における相談機関の中核を担うことのできる相談支援センターの強化や介護保険事業や市受託事業での在宅福祉サービスを基に、地域で暮らす高齢者や障がい者の方々が住み慣れた地域で自立した生活を安心して送れるよう利用者に必要とされるより質の高いサービスの提供の充実強化、また、併せて地域福祉の中核を担うことのできる役職員の資質向上及び事務局体制の強化に努めて参りました。

しかしその一方で、名寄市協指定居宅介護支援所に関する一連の問題で、市民の皆様にも多大なる不安とご迷惑をおかけした年となりました。

身近な地域のつながり、支え合いづくり

町内会ネットワーク事業では町内会単位で地域の実情に応じた様々な活動を展開いただき、更には今年度から開始した「ふくし出前講座」では町内会ネットワーク活動をはじめ、福祉関係団体など様々な方からの利用があり、住民相互の支え合いの拡大につながりました。

また、名寄市立大学との事業の共同開催や専門知識を活かした地域福祉活動を展開することにより、多様な市民の地域活動への参加につながりました。

地域福祉事業の更なる推進・強化を担える社協組織の確立

住みなれた地域で自立した生活を安心して送れるよう、指定居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所（なよろヘルパーセンターぬくもり）の機能強化や、訪問介護事業所では「特定事業所加算」の取得を継続し、利用者から信頼の得られる質の高い介護サービスの提供、利用者確保に努めました。

また、介護支援専門員及びホームヘルパーの人材確保や育成、地域との連携会議、研修会へ参加、自主的な研修会の企画・実施にも積極的に取り組みました。



（第34回ふれあい広場2019なよろ）

世代・分野を超えた福祉のまちづくり

多分野・多世代地域活動拠点「ここほっと」は開設から3年目を迎え、子どもから高齢者まで幅広い層の市民に毎日足を運んでいただき、年齢や障がい等に関わらない日常のかつ多様な交流を生む場として定着してきました。

また、ふれあい広場やふれあい家族交流会ミニバリアフリーおもちゃ博、市民ポッチャ交流大会についても、年齢や障がいに関わらない多様な市民に参加いただき、地域福祉活動や交流の拡大につながりました。

生活相談支援センターや成年後見センターにおいては、あらゆる理由によって生活に困窮した市民への支援や権利擁護を、関係機関との連携によって進めてまいりました。

地域に根ざした福祉サービスの展開

「第4期地域福祉実践計画つながり」の評価機関である専門部会及び理事、評議員を対象に評価についてテーマとした研修会を開催し、改めて評価方法等について知識を深めたうえで事業の進捗状況及び適正な評価を実施し、理事会・評議員会において報告・意見交換を行い次年度事業計画への反映に取組みました。

事務局組織の強化及び役職員の資質向上としては、積極的な研修機会の提供や災害等緊急時にもより多くの住民の生活を守ることのできる社協体制整備のため平成31年1月に運用を開始した全職員に対する「社協職員行動マニュアル」をより具体化した災害発生時の事業継続計画や災害ボランティアセンター設置マニュアルについて令和2年度より追加運用ができるよう取り組みました。

愛情銀行への預託ありがとうございます！

愛情銀行は、昭和44年に市民の皆さんの愛情を善意として積み立て、社会福祉事業に活用することを目的に開始されました。現在は、会葬礼状としてご利用いただいている「福祉はがき」をはじめ、チャリティ映画会の益金、金銭や物品寄付を、福祉団体の福祉器具購入助成など市内の地域福祉・在宅福祉事業に有効に活用させていただいています。



◇愛情銀行寄託〔福祉はがき〕

（令和2年4月1日～令和2年5月31日）

月	寄 付 金	件数	月	寄 付 金	件数		寄 付 金	件数
4	230,000円	8	5	145,000円	6	合 計	375,000円	14

◇愛情銀行寄託〔一般寄付〕

（令和2年4月1日～令和2年5月31日）

月	寄 付 金	件数	月	寄 付 金	件数		寄 付 金	件数
4	0円	0	5	250,000円	2	合 計	250,000円	2

令和元年度名寄市社会福祉協議会 決算報告

令和元年度 名寄市社会福祉協議会 会計決算書

(令和2年3月31日) 単位:円

収 入			支 出		
科 目	金 額		科 目	金 額	
事業活動による収支	4,329,200		事業活動による収支	132,285,666	
会費収入	4,178,120		人件費支出	8,053,712	
寄附金収入	44,009,709		事業費支出	23,905,397	
経常補助金収入	28,617,589		事務費支出	2,150,000	
経託事業収入	245,500		共同募金配分金事業費	6,287,000	
負担金収入	303,000		助成金支出	545,060	
介護保険事業収入	57,012,148		負担金支出	2,000,000	
障害福祉サービス等事業収入	23,525,130		その他の支出	0	
受取利息配当金収入	26,034		流動資産評価損等による資金減少額		
その他の収入	906,898				
収等施に設置する備			収等施に設置する備		
固定資産取得支出			固定資産取得支出	705,240	
長期貸付金回収収入	391,410		長期貸付金支出	425,410	
積立資産取崩収入	31,275,745		積立資産支出	6,123,013	
その他の活動による収支			その他の活動による支出	7,967,652	
収入合計	194,820,483		支出合計	190,448,150	

収入総額194,820,483円－支出総額190,448,150円＝4,372,333円

前期末支払資金残高46,755,520円＋当期資金収支差額4,372,333円＝当期末支払資金残高51,127,853円

令和元年度 名寄市社会福祉協議会 貸借対照表

(令和2年3月31日) 単位:円

資産の部		負債の部	
【流動資産】	58,362,275	【流動負債】	12,021,905
現金	31,036	事業未払金	5,124,211
預貯金	40,092,769	預り金	2,750
事業未収金	17,928,658	職員預り金	107,461
貯蔵品	231,662	賞与引当金	4,787,483
前払金	78,150	その他の流動負債	2,000,000
【固定資産】	244,686,976	【固定負債】	13,772,258
基本財産	2,000,000	退職給付引当金	13,772,258
定期預金	2,000,000		
その他の固定資産	242,686,976	負債の部合計	25,794,163
建物	9,032,566	純資産の部	
構築物	101,500	基本金	2,000,000
車輜運搬具	3	第一号基本金	2,000,000
器具及び備品	1,391,733	その他の積立金	216,737,984
権利	119,070	福祉機器積立資産積立金	6,375,648
長期貸付金	1,231,862	財政調整基金積立資産積立金	41,868,567
退職給付引当資産	1,877,100	介護保険事業積立資産積立金	149,065,769
差入保証金	300,000	地域福祉基金積立資産積立金	5,000,000
職員退職積立資産	11,895,158	町内会ネットワーク事業	10,696,198
福祉機器積立資産	6,375,648	運営資金積立資産積立金	
財政調整基金積立資産	41,868,567	多分野・多世代地域活動拠点	1,637,763
介護保険事業積立資産	149,065,769	協議体事業運営資金積立資産積立金	2,094,039
地域福祉基金積立資産	5,000,000	デイサービス事業積立資産積立金	
町内会ネットワーク事業	10,696,198	次期繰越活動増減差額	58,517,104
運営資金積立資産		(うち当期活動増減差額)	△23,522,071
多分野・多世代地域活動拠点	1,637,763	純資産の部合計	277,255,088
協議体事業運営資金積立資産		負債及び純資産の部合計	303,049,251
デイサービス事業積立資産	2,094,039		
資産の部合計	303,049,251		

赤い羽根共同募金限定 「なよろうピンバッチ」完成！！

毎年好評をいただいている「なよろうピンバッチ」。
 今年は「ポッチャ」をしている「なよろう」のデザインで完成しました！
 いただいた寄付からバッチの制作費を差し引いた分が、共同募金の寄付金として名寄市で行われる地域福祉活動に役立てられますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

取扱場所

名寄市総合福祉センター（名寄市西1条南12丁目）
 ここほっと（名寄市西4条南8丁目 西條1階）
 名寄社協風連支所（名寄市役所風連庁舎1階）

500円の寄付につき1つお配りしています！！



参加無料

第4回
市民

ボッチャ交流大会

9月26日(土)

午前の部 9:30~12:30 (受付 9時~)

午後の部 13:30~16:30 (受付 13時~)

会場 名寄市スポーツセンター
(名寄市西7条南12丁目)

開催方法

- ①「午前の部」「午後の部」で参加者を入れ替えて実施。
 - ②参加チーム数を午前・午後それぞれ先着24チーム(1チーム3人)とする。
 - ③3チーム総当たりの予選リーグを行い、上位2チームによる決勝トーナメントを行う。
 - ④午前の部・午後の部それぞれの1位~3位に記念品を贈呈する。
- ※この他の詳細については、大会10日程度前までにチーム担当者へ封書にて通知します。

参加チーム数等によって一部変更になる場合があります

参加条件

①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月12日以降に次の項目に該当する場合は、参加をご遠慮いただきます

平熱を超える発熱がある/せき、のどの痛み、風邪等の症状がある/体のだるさ、息苦しさ、疲れやすい/嗅覚や味覚の異常がある/新型コロナウイルス感染症陽性とされる方との濃厚接触がある/同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる/過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされる国、地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触があった

②大会当日、受付にてチーム毎に下記の情報を提出いただきます

チーム関係者全員の氏名、年齢、住所、電話番号、当日の体調確認
※提出いただく様式は大会10日程度前までに各チーム申込み担当者へ送付します。

③チーム関係者全員のマスク着用を必須とします

コミュニケーションや健康上の理由などによって着用ができない方は除きます。マスクは各自ご用意ください。主催者側での用意はいたしません。

④チーム関係者の来場を最小限にさせていただきます

引率等は最小限にいただき、応援のみの来場はご遠慮いただきます。幼児など同行が必要な親族は来場いただいて構いません。

大会ルール

誰でも楽しめる「レクリエーションルール」

- ①白・赤・青3種類のボールを使用
- ②赤チーム・青チームに分かれる
- ③白ボールをコート内に転がす
- ④白ボールにめがけ、両チームがルールに沿って順番に投球する
- ⑤どちらのチームが白ボールに近づいているか、近づいている個数分の点数が入る

申込方法

下記の申込み事項をメールかFAXにて名寄社協までご連絡ください

■申込み事項

- ①チーム名
- ②担当者氏名・電話番号・住所
- ③出場者のお名前・年齢(3人分)
- ④障がいの有無(有の場合はその種別)
- ⑤参加を希望する時間帯(「午前」「午後」「どちらでもよい」のうち、第二希望まで)

締め切り 8月31日(月)

※参加いただく時間帯は、大会の詳細と合わせて、大会10日程度前までに担当者へ封書にてお知らせします。

持ち物 感染予防対策

- ・上靴・マスクを必ずご持参ください。
- ・主催者側で消毒液を設置しますので、来場時・試合前・試合終了後の手指消毒を行っていただきます。
- ・使用する用具は試合毎に主催者側で消毒をします。
- ・大会開催中、定期的に換気を行います。
- ・「三つの密(密閉・密集・密接)」の回避に心がけてください。主催者側でも休憩所の席を減らすなどの対応をします。

■新型コロナウイルス感染症等の影響により開催を中止させていただく場合には、申し込み時に記載いただいた担当者へ9月11日(金)までにご連絡させていただきます。
■災害等によって急遽開催を中止させていただく場合があります。その際は、担当者へのご連絡に加え、本会ホームページ、Facebook、LINEにて周知させていただきます。

主催：名寄市社会福祉協議会／名寄市ボランティアセンター
共催：名寄市／名寄市立大学／Nスポーツコミッション
後援：名寄市教育委員会 協力：名寄ライオンズクラブ
協賛：一般社団法人 WellbeDesign

「ふれあい広場 2020 なよろ」の中止について

毎年7月第1日曜日に開催をしており、今年は7月5日に開催を予定していた「ふれあい広場2020なよろ」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、残念ながら開催を中止させていただくこととなりました。

市民の安全を第一に考え今回の判断に至りましたことについて、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

発行 社会福祉法人 名寄市社会福祉協議会

〒096-0011

北海道名寄市西1条南12丁目

名寄市総合福祉センター内

TEL: 01654-3-9862 / FAX: 01654-3-9949

ホームページ <http://www.nayoro-shakyo.jp>

E-mail info@nayoro-shakyo.jp

facebook

<http://www.facebook.com/nayoroshakyo>

[風連支所]

〒098-0507

名寄市風連町西町196-1

名寄市役所風連庁舎内

TEL・FAX: 01655-3-3777

お急ぎの場合や夜間・休日等は「01654-3-9862」におかけ下さい。
FAXは24時間送信可能です。

名寄市社協ホームページ
[PC・携帯でご覧いただけます]
<http://www.nayoro-shakyo.jp>

